



2006 ~ 2007 年度
R I テーマ

LEAD THE WAY 率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム B. ボイド (国籍・ニュージーランド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	後藤 隆	役員	会 長	上妻 浩	S A A	木村きぬ系
"	村津忠久	"	葉真寺章三		副会長	森 宗明	直前会長	平野英壽
"	溝部 仁				幹 事	近藤賢司		
"	梅津ヤヨイ				会 計	上妻 浩		

VOL . 19 - 9
2006 年 9 月 5 日

第 834 回 例 会

会報委員長 津末美代子

点 鐘 12 : 30

体 操 自律神経強化体操

国 歌 君ヶ代

R S 奉仕の理想

唱 歌 箱根八里

B. G. M 「宗次郎心のうた」より
エーデルワイス
グリーン・スリープス
コンドルは飛んでいく 他

出席報告 副委員長 高宮 勝美

本日の出席	会 員 総 数	25 名
	出 席 者	15 名
	事前メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
欠 席 数	出 席 率	62.50 %
	出 席 率	75 %
前々回の訂正	事後メイクアップ	4 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
	8/22 修正出席率	91.67 %
連 続		- 回
通 算		- 回 100 %

会長の時間 会長 上妻 浩

9月2日(土)のクラブ奉仕セミナーには登録9名に対し7名の方のご出席を頂き有難うございました。8月の社会奉仕セミナーが、関連のあるテーマとはいえ講演と映画だけだったといえるのに比べると、今度はいわゆるセミナーらしい内容でした。

まず4名のクラブ奉仕委員会の委員長による所信発表と問題提起があり、続いて地区研修リーダーによる「クラブ・リーダーシップ・プランについて」の講話がありました。その後、休憩を是大家で参加者の意見発表と質疑応答があり、主に「クラブ・リーダーシップ・プラン」についてのものでありました。1人熊本の会員から、2720地区のあり方について苦情めいた意見がありまし

・メイクアップ

事前 溝部(別府)平野、河村(別府東)亀井(地区クラブ奉仕セミナー)

事後 衛藤(別府) 桜田、小川(別府東)後藤(孝)(地区クラブ奉仕セミナー)

欠席 桜田、小川、大島、吉富、後藤(孝)

たが、ガバナーがこのセミナーと無関係の内容だから、別の機会にして頂きたいとのことで打ち切りました。

最後に、熊本と大分のガバナー補佐1名ずつによる講評が行なわれ、あまり荒れることなく無事終了しました。



幹事報告

幹事 近藤 賢司

- 新世代のための月間 -

1. 本日の卓話
『門前の小僧』 森 宗明会員
2. RI第2720地区『2006 - 2007年度地区大会』
開催のお知らせ
開催日 平成18年11月4日(土)・5日(日)
場所 ビーコンプラザ
(別府市山の手町12-1 ☎0977(26)7111(代))
・会場「フィルハーモニアホール」第1回本会議
「コンベンションホール」第2回本会議・希望懇親会
登録料 大会登録 会員：8,000円
ご家族：5,000円
希望懇親会 会員・ご家族：8,000円
特別参加者：5,000円

登録締切 9月30日(土)

11月4日(土)大会第1日目	13:00~18:00
第1回本会議	
【会場】ビーコンプラザ・フィルハーモニアホール	
13:00~点鐘 / 13:50~ガバナーアドレス	
14:10~RI会長代理アドレス	
15:50~記念講演	
・記念講演『「古池や」は本当か』	
日本芸術院会員 俳人 金子兜太氏	
RI会長代理ご夫妻歓迎会並びに希望懇親会	
18:30~20:30	
【会場】ビーコンプラザ・コンベンションホール	
18:30~開宴	
11月5日(日)大会第2日目	9:00~12:15
第2回本会議	
【会場】ビーコンプラザ・コンベンションホール	
9:00~点鐘 / 9:30~RI会長大会所感	
10:20~記念講演	
・記念講演『両雄が語る「南極の自然と謎」』	
南極観測船しらせ元艦長 加藤達雄氏	
国立極地研究所長(元南極越冬隊長) 藤井理行氏	

今年度の地区大会は、当クラブはコ・ホストクラブでもあります。

3. 8月29日(火)10:00~杉乃井ホテル華館に於いてガバナー公式訪問の一環として「会長・幹事懇談会」が開催されました。
出席者：玉ノ井溥明ガバナー、
明石光伸大分第3分区ガバナー補佐、
上妻 浩会長、近藤賢司幹事

4. 8月29日(火)13:45~スギノイホールに於いて「親睦活動委員会」を開催致しました。
出席者：赤嶺リサ、亀井 孝、近藤賢司 各会員
5. 8月29日(火)18:00~別府ホテル清風に於いて「第3回別府市内4RC会長・幹事会」が開催され、上妻 浩会長、近藤賢司幹事が出席致しました。
6. 9月2日(土)13:00~別府大学・3号館ホールに於いて「RI第2720地区クラブ奉仕セミナー」が開催されました。
出席者：上妻 浩会長、近藤賢司幹事、森 宗明クラブ奉仕委員長、鳴海淳郎R情報委員長、赤嶺リサ、後藤孝弘、亀井 孝 各会員(3年未満の新入会員)
7. 本日例会終了後、13:40~「第3回定例理事・役員会」を開催致します。
8. 例会変更のお知らせ
日出RC 9月12日(火)の例会は、観月例会の為 同日19:00~竹炭地鶏焼炭仙人に場所変更
中津RC 9月13日(水)の例会は、ガバナー公式訪問3クラブ合同例会の為 9月14日(木)12:30~グランプラザ中津ホテルに開催日変更
中津中央RC 9月19日(火)の例会は、観月例会の為 同日18:30~八面山荘に時間・場所変更
中津RC 9月20日(水)の例会は、観月例会の為 同日18:30~金色温泉「こがね山荘」に時間・場所変更
大分キャピタルRC 9月20日(第3水)の例会は、7周年記念夜例会の為 同日18:30~大分東洋ホテル3F瀬戸の間に変更
別府東RC 9月21日(木)の例会は、国際交流ゆかたの夕べの為 9月22日(金)18:30~別府大学に日時・場所変更
9. 次週の予定 (*原稿をお願い致します。)
「NPO法人別府もみじ谷トラスト機構について」
村津忠久社会奉仕委員長
「会員コラム」 椋田健治会員
10. 本日の回覧
「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金箱
「RI第2720地区2006-2007年度地区大会」(11月4日(土)・5日(日)) 出・欠席
「第23回別府近隣7RC親睦ソフトボー

ル大会」(10月15日)参加・不参加
「別府中央RC親睦ゴルフ大会」(9月23
日(土・祝))参加・不参加
中津中央RC、宇佐RC 週報

11. 本日の配布

ロータリーの友9月号
別府中央ロータリークラブ現況と活動計画
週報833号
「クラブづくりの原点」
鳴海淳郎R情報委員長

スマイルボックス

葉真寺章三

上妻会長

クラブ奉仕セミナーに参加の皆様、有り難う
ございました。

森会員、本日の卓話よろしくをお願いします。

近藤会員

地区クラブ奉仕セミナーが別府大学であり、
久し振りに大学キャンパスを歩きました。遠
い昔を振り返りとても懐かしい思いで一杯でし
た。しかし、女子学生と何人もすれ違ったのに、
誰も私に声をかけてくれなかったのが、とても
残念でした(^ ^)

赤嶺会員

先日行われました「クラブ奉仕セミナー」ご
出席の皆様、大変お疲れ様でした。私にとつて
もとても意味のあるセミナーでした。鳴海先生
のたくさんの方々の前での立派な発言が本当に
素晴らしかったです。

木村会員

一年の間で一番忙しい8月も終わり、無事事
故もなく過ぎた事にまず感謝。9月の実りの秋
に向かって、又がんばってゆこうと思っていま
す。皆さんも夏の疲れを吹き飛ばし、例会に出
席できる事に一緒に感謝しましょう。

衛藤会員

お久しぶりです。毎日何かと忙しくしてま
すうちに、早くも9月の声を聞く季節となりました。
今日は皆様にお会い出来て幸せです。今月
も又、がんばります。

高田会員

お休みが多くて申し訳ありませんでした。又、
8月は誕生日プレゼントありがとうございました。
誕生日が来る度に心と気持ちを若く持って
いつまでも健康でありたいと思います。

村津会員

10月29日の「第29回別府市民合唱祭」出演
の為にロータリーコールの練習が昨夜から始ま
りました。メンバーの精進を祈念してスマイル。

高宮会員

森宗明会員の卓話、楽しみにしています。

欠席者は1～2日前には事務局へTELを、
食事を無駄にしないで下さい。

吉富会員

こんにちば、朝夕は随分と過ごし易くなりま
したね。本日は、取締役会議の為に、欠席いた
します。まあまあかな、と思える結果に感謝して
スマイル。

葉真寺会員

昨年の今日は、台風直撃でした。今年は今の
ところゼロ。このまま秋がスムーズに来るこ
とを祈っています。

委員会報告

親睦活動委員長 赤嶺 リサ

来る、9月23日(土・祝)親睦ゴルフ大会を開
催致します。多数のご参加をお待ちしております。

卓話

森 宗明

「門前の小僧」

私は昭和29年1月16日、愛媛県北宇和郡北灘
村という漁村で父一雄と母玉樹の3番目、二男と
して生まれました。父の家は漁師の網元でしたが、
二男の父はここで母と結婚をし、子供を3人産ん
だあと、父が32歳の時、父母は大分県杵築市三
光坊に蜜柑の開拓農家として移りすみます。その
折長男は父母と一緒に大分県に来たのですが、私
と姉(当時私が3歳姉が5歳)の二人は母の郷里
に預けられました。

さてここからです。母の里は臨済宗の寺でし
て、私、門前の小僧はここで2年を過ごすこと
になります。三つ子の魂100までと申しますが、私
の生きてきたなかでこの寺ですごした、今にして
みればわずかな期間が私の人生観、宗教観に大き
な影響を与えたようです。

私と姉は主に母の妹つまり叔母に育てていただ
いたわけですが、人生観、宗教観については、当
時住職であった祖父の影響を大いに受けました。
そのころの小さいことまでははっきりと覚えてい
ないのですが、その後、特に親元を離れてからの
私の人生観、宗教観のような漠然とした形で、私
のなかで生き続けているものについて、現在の私
の生活を通して少しお話をさせていただきます。

私は時々、会社の朝礼で、宗教について話を
いたします。特になにににに教に帰依せよという話



でももちろんありません。社員に話すのは「あなたの実家の宗教は何ですか」と聞くことぐらいです。あとは、宗教は生きていくうえで必要なものだからできるだけ宗教に触れる時間を持ちなさいといったようなことです。何を信じるとか何に入学しろとかは一切申しません。

今日道徳とか、倫理とかの欠如がよく話題に出ますが、宗教とはこれらの道徳心とか倫理観といったようなものを入れる「器」なのだと思われがちです。

つまりきちんとした宗教心が確立されてないと言うことは、道徳なり倫理なりを入れる器がないと言うことです。「宗教心」を平たく言えば、私たち人間や全ての生き物は、全て自分の意志でどうにもできない存在であるということに認めること、このことに気がつくことなのだろうと思います。つまり生きていくのではなくて、生かしていただいている、と言うことです。これがわかるといろんな問題が解決します。

例えば「離婚」ということがあります。そもそも結婚したときに、これから夫婦として一生添い遂げますと約束した相手は、キリスト教徒ならイエス様、神道ならば神様、仏教徒であればお釈迦様との約束であるはずですが。これは約束を反故にするには相手が悪い。

それをいつの間にか忘れてしまって、これは夫婦の問題だからと言います、本当にそうですか。何に手を合わせ、誰に誓ったのか思い出してもらいたいのです。

母の里の寺は臨済宗と申し上げましたが、臨済宗について私の知っている範囲のお話を少しさせていただきます。これは皆さんご存知の「禅宗」です。禅宗には臨済宗と曹洞宗の二つの宗派がありますが、栄西の伝えたものが臨済宗で、道元が伝えたのが曹洞宗です。

私の祖父の寺は臨済宗です。ここで皆さんご存知の座禅をするわけですが、これが仏教の修行のひとつであることは皆さんご存知のとおりです。正座して精神の集中をはかり迷いの心を捨てて、無我の境地に達することがその目的です。

ちなみに私、今は中断していますが、私が30歳のころ始めて8年ほど続けた合気道は動く禅と言われ激しく動くことがあります。その目的

とするのは座禅の目指すものそのものであったと思っています。私は無我の境地に至ったことはありません。物事に執着する凡夫の域をでることがいまもできません。

現在の私はと申しますと、洗礼を受けたクリスチャンであります。家内もそうです。であります。子供にも他の身内にもクリスチャンになれとは申しません。人みな生きていくうえで100人いれば100人の生き様が用意されています。その過程で何か宗教を必要とする場面がそれぞれにあると思います。各人が各様の生き方をする上で出会い選択してゆけば良いと思っています。

ただ、私の祖父の話してくれた、宗教は道徳心や倫理観を入れる器であるということにわかっていただきたいと思えます。器がなければザルに水を注ぐようなものです。

核家族が当たり前になった現在、仏壇のない家がほとんどであろうと思われ。心の糧をどこに求めるのか、人智を超えたところで生かされている私たちが最終的に生きる価値をどこに求めるのか。じっくり考えてほしいものです。

私の場合臨済宗の寺の孫がクリスチャンになったわけですが、親戚の誰一人それについて、異論は申しません。それは私が私であることに変わりないからです。また今、私が心のそこからご先祖に感謝しているからです。

人はこの世に生まれたときにただひとつ、誰一人例外なく約束されていることがあります。それは必ず死ぬということです。物の豊かさでなく、地位でなく、名誉でなく、本当に幸せな人生であったと感じて、天国に、また極楽に行きたいものです。

地獄の沙汰も金次第と言いますが、実際あの世に現金を持っていくわけにはいきません。もっていけるのはどう生きたのかという事実、因果といえるかもしれませんがそれだけです。

最後に、とってつけるような言い方になりますが、ロータリーに入らせていただいたことは、私の人生で、本当に幸せなことである、と、思っています。導いてくださった先輩諸氏に改めて感謝申し上げます。

会員コラム

平野 英壽

先週、夏休みを頂いて、ゴルフ旅行に行ってきました。飛行機の中で安岡正篤先生の「一日一言」という本を居眠り半分読んでいました。

その中の1コマを紹介してみたいと思います。大抵の人は、お辞儀というのは「相手に敬意を表すること」だと思っているが、それは第二儀である。第一儀は相手を敬することではなくて、「自らを敬す」ということである。例えば仏典にお辞儀ということをして、「吾を以て汝を敬し、汝を以て吾を敬す」といっている。

つまりお辞儀をするということは「自分が相手に敬意を表すると同時に、相手を通じて自分が自分に対して敬意を表する」ことである。

鳥獣はお辞儀をするということを知らない。ということは、自らその真理、価値というものを尊重することを知らない。まだ精神生活が発達していない。人間になると初めてそれが発達してきて、お互いに挨拶をする。

お辞儀をするということは、お互いに相敬することであり、自ら外に挨拶をするということは、同時に他を通じて自己を敬することだ。そこにお辞儀という物の厳粛な意義がある。

先生の文章を読むまでは「お辞儀」とは相手を敬する為にするものだと思っていたように思えます。お辞儀をすることによって確かに自分自身の気持ちも引き締まります。そして気持ちが引き締まるのと同時に自分自身の誠意が相手に伝わり、それが相手を敬することにつながるのではないかと考えました。

頭を下げるという簡単な行為の中にも「大切な意義」が含まれているということに忘れずに、相手と自分に敬意を表したいと思いました。

いわばお辞儀は「護身術」です。

今回は、梶田健治会員です。